

協働事業結果報告書

団体名	金沢八景ー東京湾 アマモ場再生会議	
事業名	多様な主体の協働による金沢湾周辺のアマモ場の再生	
事業期間	平成17年 4月 1日 から 平成18年 3月31日	
事業内容	(1) 講演会・シンポジウム・フォーラム等の開催	(2回)
	(2) 観察会・学習会・研究会等の開催	(5回)
	(3) パネル等の展示	(8回)
	(4) 印刷物の発行	
	ア シンポジウム・フォーラムの要旨集	(2回)
	イ アマモ保護、再生のための啓発チラシ	(1回)
	(5) リサイクル活動	(回)
	(6) 環境保全をテーマとするイベントの開催	(9回)
	(7) その他	
	ア 環境保全に関する調査活動	(16回)
	イ 運営委員会、打合せ等	(6回)
	ウ 出前授業	(1回)
	エ 講演会・シンポジウム等講師	(4回)
オ 委員会参加・受賞等	(4件)	
(協働事業をはじめたことによる成果及び事業内容の変化)		
協働事業3ヶ年目にして、横浜国際ワークショップ、第3回海の森づくりフォーラムの開催を実現した。前者では世界の藻場造成研究者との交流などの国際的な連携を、後者では地元の小学生から国レベルの行政機関の環境活動に関する発表の場を持ち相互の連携を図ることが出来た。		
当初の計画では、指針づくりを予定していたが、この内容は、上記の横浜海の森づくりフォーラムの要旨集(第一回ー第三回)、横浜国際ワークショップの要旨集などの中にとりまとめた。		
横浜国際ワークショップの開催に際して、本団体は共催として加わった。これは資金的な理由によるものであり、開催の実質的な主体は本団体であった。		
平成18年12月には、横浜において「全国アマモサミット」を開催し、協働を主体としたアマモ場の再生による海辺のまちづくりについて、横浜の例と全国の例とを比較しながらまとめていく。本課題については、3ヶ年の蓄積により横浜が全国的な情報発信の拠点となっている。		
(今後の展望と課題)		
アマモ場の再生ー自然再生に終わりはない。この協働事業により得られたかけがえのない成果を、実りをさらにおおきく未来へ引き継ぐため、アマモ場再生に関する関係主体間で構成されたネットワークー事業調整会議の継続を希望する。		
(本助成制度に関する意見)		

活 動 経 過

活動日（期間）	内 容	参加者数、実施回数 等活動の実績
講演会・シンポジウム・フォーラム等		
11月25～27日	「横浜国際ワークショップ『東京湾の生態系の再生をめざして』」（はまぎんホールヴィアマールにて）	3日間開催 参加者約250名
3月25日	「第3回横浜・海の森づくりフォーラム」（横浜市大・カメラリアホールにて）	参加者約200名
観察会・学習会・研究会等		
7月30日※ 9月26日 12月19日 3月25日※	「アマモ報告会」（横浜市漁協柴支所にて、モニタリング結果を報告） ※7月30日は県水産技術センター、3月25日は横浜市大で実施	4回実施 参加者各30名
7月30日	「アマモ学習会」（県水産技術センターにて、種子採取イベントの中で実施）	参加者74名
パネル等の展示		
6月12～18日	「環境月間パネル展」（横浜市市民活動支援センターにて）	7日間開催
7月15日～ 8月14日	「『きれいな海』の絵コンテスト 展示会」（ベイサイドマリーナにて、再生会議の後援で開催）	1ヶ月間開催
7月18日	「夏！市民活動体験塾」（横浜市市民活動支援センターにて）	来場者約100名
8月7日 11月6日	「環境ボランティア参観日」（横浜市開港記念会館、市民活動支援センターにて）	来場者延べ84名
9月4日	「第12回金沢水の日」（野島青少年研修センターにて、水槽・パネル展示）	来場者約200名
11月7～8日	「『新しい公共』を考える横浜会議」（パシフィコ横浜会議センターにて）	2日間開催
11月19～20日	「第25回全国豊かな海づくり大会かながわ大会」（臨港パークにて、西柴小アマモ隊発表、アマモお手渡し）	2日間開催 来場者約155,000名
環境保全をテーマとするイベントの開催		
5月7日	「アマモ場保全啓発活動、アサリ調査」（潮干狩り客に対しアマモ場保全のチラシを配布）	チラシ配布約5,000枚
5月8日	「オールクリーン野島ビーチ&アマモ移植」（野島海岸にて海浜清掃とアマモの移植を実施）	参加者307名
5月22日 6月5日	「アマモ花枝採取イベント」（横須賀市走水海岸にてアマモの花枝を採取）	参加者延べ103名 花枝13,000本採取

7月30日	「アマモ種子選別会と城ヶ島海の体験」 (県水産総合研究所及び城ヶ島海岸にて)	参加者 83 名 アマモ種子 19 万粒
10月23日	「アマモ苗床作り」(県水産技術センターにて)	参加者 56 名
10月29日	「アマモ播種イベント」(金沢漁港にて)	参加者約 100 名
11月3日	「アマモ播種イベント」(ベイサイドマリーナにて)	参加者約 150 名
3月1日	「アマモ移植」(金沢漁港にて)	
環境保全に関する調査活動		
4月～3月	「定例アマモモニタリング」 (海の公園、野島/ベイサイドマリーナにて)	延べ 16 回実施
運営委員会、打合せ等		
4月～3月	「拡大運営会議」	3 回実施
6月8日	第3回「金沢八景－東京湾アマモ場再生会議」総会	参加者 16 名 (委任状出席者含む)
6月29日 10月17日	「事業調整会議」(横浜市役所会議室にて)	参加者 24 名(11 機関) 参加者 24 名(12 機関)
出前授業		
6月30日	「西柴小学校」	4 年生 4 クラス 児童数 120 名
講演会・シンポジウム等講演		
6月26日	「環境行動シンポジウム 2005」 (横浜市大・アバンセッジにて、パネリストとして講演)	
7月28日	「アマモ場再生に関する講演会」 (横浜オリオンライオンズクラブ定例会にて講演)	
11月7～8日	『『新しい公共』を考える横浜会議』 (パシフィコ横浜にて、ポスターセッションのパネリストとして講演)	
1月16日	「アマモ場再生を通じたアウトリーチ活動の実践」 (神奈川県、平成 17 年度研究リーダーのための研究マネージメント研修会で講演、およびテーマ討論「県試におけるアウトリーチ活動の現状と課題」のコーディネーター)	
その他、委員会等への出席・参加、表彰等		
8月～11月	横浜市環境創造局「金沢湾周辺環境再生事業」検討委員会に参加	
8月	第 12 回コカコーラ環境教育賞主催者賞受賞	

4月～3月	横浜市環境創造局、「海の公園アサリ大量採取対策連絡会」に参加、協力（事務局、南部公園緑地事務所）	
11月	海の公園が「第25回全国豊かな海づくり大会」の際に天皇皇后両陛下からお手渡しがあったアマモ苗の移植地であることを示す看板設置に対する、協力。	